

中央図書館 News Letter

新潟県立がんセンター新潟病院 中央図書館 (新潟県立病院職員専用)

Vol.5 No.1 2016年10月7日

CONTENTS

- 1.病院図書館の電子化について 2.中央図書館の電子リソース 3.「メディカルオンライン」について

1.病院図書館の電子化について

医学分野における図書情報はインターネットを介した電子情報に急速にシフトしつつあります。最新の情報を世界同時発信で受け取れることは、日々の診療の質の確保や研修教育にもかかせないものとして取り入れる施設も多くなってきました。そこで今回は、病院図書館における電子化のメリットと電子リソースの分類等についてご紹介します。



1) 電子化のメリット

電子化されてメリットがよく分かるのは、ジャーナル（雑誌）です。利用者と施設側のメリットについて紹介します。

- ①利用者のメリット：即時に論文を入手できる、最新の論文について雑誌の到着を待たないでいい、印刷前の論文も入手できる場合もある、引用文献から本文へリンクして閲覧できる、デジタルデータで論文管理ができる、中止しても契約年を閲覧できるものがある。
- ②病院図書館のメリット：受入れや配架作業が不要、紛失などによる欠号のおそれがない、製本不要、保管スペース問題の解消。

2) 病院図書館における電子リソースの分類

さまざまな電子商品がでており、複合体も増えてきました。

①文献検索データベース：

書籍や雑誌などの論文に対して、それらを探すための資料をWeb上にデータベースを構築して提供しているもの。代表的なものに、アメリカ国立医学図書館提供の「PubMed」と、医学中央雑誌刊行会の「医中誌Web」があります。

②電子ジャーナル：

雑誌論文を電子化し、Web上で全文を閲覧、入手できるようにしたもの。雑誌の個別契約も、パッケージでの契約も、論文の入手は出版社が提供するプラットフォームになる。プラットフォームも様々あり、表のように大別されます。

③電子ブック・教科書：

電子化された書籍コンテンツと提供方法の複合であるプラットフォームのこと。つまり論文をWeb上で閲覧、pdfで保存できるだけでなく、プラットフォームから同じ出版社のジャーナルや診療サポートデータベースも包括的に検索できるものも増えてきました。例として、エルゼビア社のClinicalKeyがあります。

④診療サポートツール：

エビデンスをもとに診療上の情報が編集されており、複数の診療科をまたいで情報を検索でき、エビデンスとなる文献も掲載され、リンクで本文を入手できるなど情報収集の労力を大幅に軽減できます。臨床研修医を受け入れる病院には導入して欲しいデータベースとして、UpToDate、DynaMed等があります。

*：石川美奈子：電子リソースの導入と活用. ほすびたる らいぶらりあん. 2016;41(3):126-131.から改変。

表 電子ジャーナル プラットホームの種類

主なプラットフォーム	提供元
出版社系（即時閲覧）	
Science Direct	Elsevier Science
Springer Link	Springer Nature
Wiley Online Library	Wiley
Ovid SP	Wolters Kluwer
Medical Finder	医学書院
アグリゲータ系（複数の出版社の集合体、閲覧制限あり）	
HighWirePress	Stanford University
EBSCOhost	EBSCO Publishing
Medical Database (IB: Proquest Medical Library)	ProQuest
メディカルオンライン	メテオ
その他	
J-STAGE	科学技術振興機構
学術機関リポジトリ	

3) 電子化に必要なもの

導入するには院内のネット環境を整備する必要があります。IPアドレスがない場合は取得する必要があります。院内LANが整備されていれば、接続PCで契約アクセス数に応じた利用ができます。

また、電子化された後、活用のための①アナウンス・広報、②利用しやすく分かりやすい環境整備（ホームページ内の設定）、③利用説明会や講習会の開催があると一層活用が進みます。電子リソースを管理する担当者の存在も不可欠と言えるでしょう。中央図書館に導入されている電子リソースは次ページにご紹介しています。

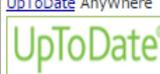
2. 中央図書室の電子リソース

http://www.niigata-cc.jp/facilities/chuou.html

中央図書室では図のような電子リソースを導入しています。文献複写お申込みへの対応や、来室して利用ができます。

- ★国内雑誌の検索には「医中誌Web」を使用し、検索結果にリンクして全文データを表示できるように「メディカルオンライン」と「最新看護索引（全文表示は日本看護学会論文集(2012～)のみ)」を導入しています。
- ★外国文献の検索にはPubMedを使用しますが、ProQuest Medical Libraryにリンクさせた専用URLを使用します。契約の外国雑誌は全てオンラインジャーナルになっていますので、これらもPubMedの検索結果に表示されたアイコンをクリックすれば全文を表示できます。

★国内文献と書籍など★	
<p>医中誌Web</p> 	<p>国内医学・歯学・薬学および周辺分野の論文情報を検索します 同時アクセス4 医中誌Web Ver.5 第2版 の検索方法</p>
<p>メディカルオンライン</p> 	<p>医中誌にリンク、国内雑誌を電子化してあります</p> <p>●IP認証に変更されました（2016年4月8日から） 院内LAN接続のPCであれば、全文情報はクリックだけでよく表示されます</p> <p>ユーザーマニュアル(pdf) メディカルオンラインの使い方 リニューアル版</p>
<p>最新看護索引Web版</p> 	<p>医中誌にリンク 日本看護学会論文集は、2012年から全文ダウンロード可能 同時アクセス1</p>

★国外文献と書籍など★	
<p>PubMed 新潟がんセンター専用URL</p> 	<p>世界中の医療系文献の検索 ProQuest Medical Libraryとリンクしている専用URL 最もシンプルで分かりやすいPubMed検索法 2012 (南郷英秀MD, PhD http://spell.umin.jpから)</p>
<p>ProQuest Medical Library</p> 	<p>PubMedにリンク 外国電子ジャーナル（約1500タイトル） 閲覧制限期間のあるものがあります</p>
<p>ClinicalKey</p> 	<p>1,100以上の教科書、600以上のジャーナルを始め、全てのエルゼビア医療系コンテンツを収録した臨床医学研究・教育用コンテンツデータベース（The Lancet、JACC、ブラウンフォード心臓病学、ネルソン小児科学などをフルテキストで閲覧可能）</p> <p>① まずは個人用アカウントの登録を ユーザー登録方法</p> <p>② 次にリモートアクセス登録で、院外からも使用可能になります。希望者は図書室に登録用IDと登録用パスワードを申請してください。その際、個人用アカウントで登録したメールアドレスをお知らせください</p> <p>リモートアクセスの承認方法</p>
<p>ASCO Virtual Meeting</p> 	<p>ASCOが主催・共催する主要6会議の発表内容を動画、MP3（音声）で提供しています</p> <p>マニュアル(pdf) ASCO Virtual Meetingの接続確認と使い方</p>
<p>UpToDate AnyWhere</p> 	<p>エビデンス情報ツール 日本語で検索可能一検索結果は英語で表記されます ユーザーネーム・パスワード登録で、モバイルや自宅PCからも検索可能になりました！登録方法は下記からどうぞ</p>

3. 「メディカルオンライン」について

メテオ社から今年も新潟県立関連病院向け導入提案された「メディカルオンライン」は、国内発行の学会誌・商業誌（現在735学会919誌、78出版社339誌）を論文単位で配信しているサイトです。（図書室担当者あてにご案内済み）



新潟県内での導入は5大学、14病院で、県立病院では今年度から新発田病院と精神医療センターが導入しました。

サイト内は論文配信の他に、くすり・プロダクト（医療関連製品）・医学書（医学書は別途契約が必要）のサイトもあり、医療情報サイトとしても利用ができます。但し、論文配信の雑誌数は国内発行雑誌の2割程度のため、これをもって国内誌を網羅している訳ではありません。そのため、医学論文検索データベースの医中誌Webと合わせて利用できる環境が推奨されます。

電子ジャーナルとしてのメリットは大きいものの、その特徴を理解して利用する必要があります。

●メリット

- ・24時間アクセス可 同時アクセス無制限等
- ・雑誌受入・管理・欠号・紛失対応・文献複写等の業務軽減
- ・国内文献のため医師だけでなく病院職員全体での利用が可能

●デメリット

- ・ネット環境が必須
- ・論文単位のため雑誌記事全てを読むことが出来ない場合がある
- ・一部配信制約がある（一定期間アブストラクトのみ、あるいはフルテキストのFAX送信の期間等）
- ・契約を中止した場合バックナンバーへのアクセス権がなくなる

